



今多くの人が最も知りたいと思うのは、東北関東大震災にかかわる情報だろう。依然として続く余震情報、津波による被害実態、そして大打撃を受けた福島原発事故の状況、それらに関連する情報である。今回は、ウェブ検索の基本に戻って、大震災の情報入手法について紹介しよう。

第九話 東日本大震災に関する情報収集法

マスメディアとそのウェブサイトへアクセス

我が国のようなマスメディアが発達している国において、一般市民が緊急時における情報入手で便利なのは、なんといっても、テレビ、ラジオ、新聞といったマスメディアとそのウェブサイトの利用である。速報性、信頼性、一覧性などの面で優れている。全国TVネットや全国紙だけでなく、震災の地元TV局や地元新聞へのアクセスも、重要である。

地震を感じたら、まずは、テレビとラジオの電源をいれることである。報道各社は、一斉に緊急の地震ニュースを流している。テレビ映像は、各種モバイル機器のワンセグが役に立つ。テレビ局や新聞社はウェブ上で動画配信をしており、ユーチューブなど動画配信サイト経由からも、災害映像が見られる。

また、これらのマスメディアのウェブサイトは、災害特集コーナーをすぐに設けている。その特集コーナーを開ければ、地震に関する各種情報を整理して、掲載している。テレビ放送に比べ、そのウェブサイトの情報は、情報が保存されており、一覧できて便利である。

報道機関のウェブサイトへのアクセスが重要なのは、一次情報源として重要な関連サイトへのリンクを張っている点である。首相官邸、東京電力、気象庁、消防庁、県や市町村のウェブサイトへリンクしており、情報源に即座にアクセスできる。

グーグルとヤフーの2大サイトへアクセス

テレビ局や新聞社のウェブサイトには、いちいちアクセスし直すのは、実際には少し面倒くさい。インターネットを利用する上で一番便利なのは、ポータルサイトへのアクセスである。マスメディアが流す震災ニュースが、まとめて一覧できるからである。

その代表が、グーグルとヤフーの2大サイトであり、最も情報収集が容易である。個々の報道機関のウェブサイトへアクセスするよりは、利便性が高い。個人的な趣味であるが、筆者が最初にアクセスするのは、ヤフーの「トピックス」欄である。

ヤフーは、トップページに「トピックス」欄を設けてあり、その中には、新聞社の地震情報を

一覧でき、各種の解説も載せているコーナーが用意してある。トップページには、大きく地震関連コーナー、首相官邸へのリンクするコーナーも表示されている。

グーグルでは、キーワード検索をする際に、検索範囲を「ニュース」に限定すれば、新聞各社が流す震災関連ニュースだけを、検索させることが出来る。キーワードをうまく選べれば、自分の知りたい震災関連の情報部分のみを検索してくれる。

また、現在は、検索窓口の下に、「東日本大震災に関する情報（消息情報、避難所、義援金受付など）」を用意してあり、各サイトにアクセスできる。例えば、3月14日より、避難所名簿の写真共有サービスコーナーを用意しており、被災者などが携帯電話から投稿を出来るようにしている。グーグルで重要なのは、グーグルマップやグーグルアースであり、地図をもとに被災地の状況を把握できる点にある。3月13日からは、被災地の衛星写真を公開している。

情報発信源へ直接にアクセス

テレビ局や新聞社などからの震災関連ニュースは、あくまでも二次情報に過ぎない。必要な場合には、情報発信源へ直接アクセスすべきである。ヤフーやグーグルといったポータルサイトからもリンクが張られているサイトも多いが、検索窓口からキーワード検索して、情報源サイトに直接アクセスする方法を、忘れてはならない。

情報発信源とは、首相官邸地から監督官庁、県や市町村サイト、日本赤十字・東京電力・東北電力・消防庁・航空・鉄道・バス各社などのサイト、さらに、銀行・郵貯・スーパー・コンビニ・宅配業者などなど、必要に応じてアクセスすべき箇所は、沢山ある。

例えば、東京電力は、サービスエリア内における電力の使用状況グラフを公開している。コンビニのローソンは、被災地の店舗開店状況と商品供給状況を公開している。ヤマト運輸は、被災地の宅配業務の再開状況を公開しているといった具合である。

ちなみに、情報発信源のサイトが、震災の影響で情報発信が難しい状況に陥っている所も、少なくないようである。これについて、朝日新聞（3月22日）は、「アクセスが集中してダウン寸前になった自治体のウェブサイトバックアップしたり、ボランティア団体に情報システムを無償で提供するIT企業が出てきている」と、報じている。

無料百科事典ウィキペディアへアクセス

突然生じた災害に対して、体系的な情報を発信してくれるサイトがある。今回の地震に関係する情報について、過去に溯って時系列で整理した情報や、表形式で比較整理した情報を発信している。それは、ウィキペディアである。ウィキペディアは従来の百科事典という枠を大きく超えて、つい直前の情報まで情報更新をしている。マスコミの記者、ニュース解説者、関連企業の実務担当者などにとっても、非常に重宝する情報源になっているとあってよい。

グーグルからウィキペディアのサイト内検索を利用すれば、ウィキペディア内の災害関連情報を、一気に検索することができる。グーグルの検索窓口で、{福島原発 site:ja.wikipedia.org}、{東日本大震災 site:ja.wikipedia.org}などと、検索すればよい。

ちなみに、前者のキーワードで検索した結果を紹介すると、ウィキペディア内の653件が検索され、福島第一原子力発電所、福島第一原子力発電所事故、東京電力原発トラブル隠し事件、制御棒引き抜け事象、女川原子力発電所、浪江・小高原子力発電所、東京防災設備などなどの諸項目が検索され、関連する情報が整理された形で、簡単に入手できる。